

令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量 (10月15日現在 鳥取県)

【調査結果の概要】

1 作付面積

令和2年産水稻の作付面積（子実用）は1万2,900haで、前年産に比べ200ha（2%）増加しました。

また、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は1万2,800haで、前年産に比べ200ha（2%）増加しました。

2 作柄概況

穂数は、田植期以降高温・多照で推移していたものの、7月の低温・日照不足の影響もあり「平年並み」となりました。1穂当たりもみ数は、7月の日照時間が少なかったものの、8月以降天候に恵まれたことから「平年並み」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「平年並み」となりました。

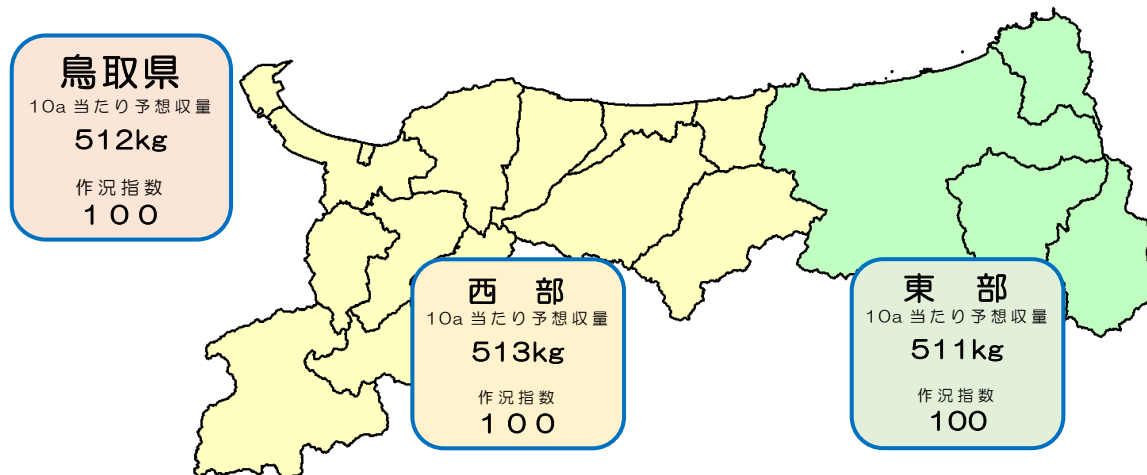
登熟は、高温による未熟粒等の被害やトビイロウンカによる被害発生等が見られるものの、梅雨明け以降高温、多照に推移していることから、「平年並み」と見込まれます。

以上のことから、鳥取県の10a当たり予想収量は512kgで、前年産に比べ2kg減少と見込まれます。作柄表示地帯別では、東部が511kg（前年産に比べ5kg増加）、西部が513kg（同6kg減少）と見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベース（鳥取県 1.85mm）の作況指数は100（平年並み）と見込まれます。

作柄表示地帯別では、東部、西部ともに100（平年並み）と見込まれます。

図1 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）



3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は6万6,000tとなり、前年産に比べ700t（1%）の増加が見込まれます。

また、主食用作付面積に10a当たり予想収量に乗じた主食用の予想収穫量は6万5,500tとなり、前年産に比べ700t（1%）の増加が見込まれます。

表1 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

単位：%

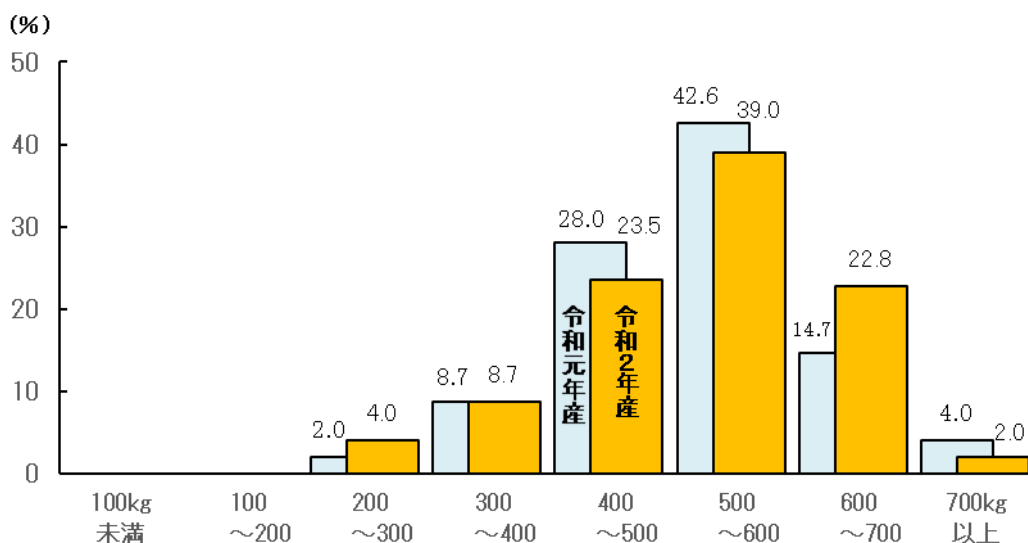
県・作柄 表示地帯	区分	計	ふるい目幅別重量分布状況					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
鳥 取	重量割合	100.0	0.5	1.2	1.3	2.3	11.2	83.5
	平均値	100.0	0.7	1.3	1.5	2.2	10.7	83.6
	対平均差(%)	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	0.1	0.5	△ 0.1
東 部	重量割合	100.0	0.6	1.3	1.5	2.4	10.9	83.3
	平均値	100.0	0.6	1.2	1.4	2.0	9.1	85.7
	対平均差(%)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	1.8	△ 2.4
西 部	重量割合	100.0	0.5	1.1	1.2	2.2	11.4	83.6
	平均値	100.0	0.7	1.3	1.4	2.3	11.7	82.6
	対平均差(%)	0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.3	1.0

表2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

単位：%

区分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700kg 以上
筆数割合	100.0	—	—	4.0	8.7	23.5	39.0	22.8	2.0
前年値	100.0	—	—	2.0	8.7	28.0	42.6	14.7	4.0
対前年差(%)	0.0	—	—	2.0	0.0	△ 4.5	△ 3.6	8.1	△ 2.0

図2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

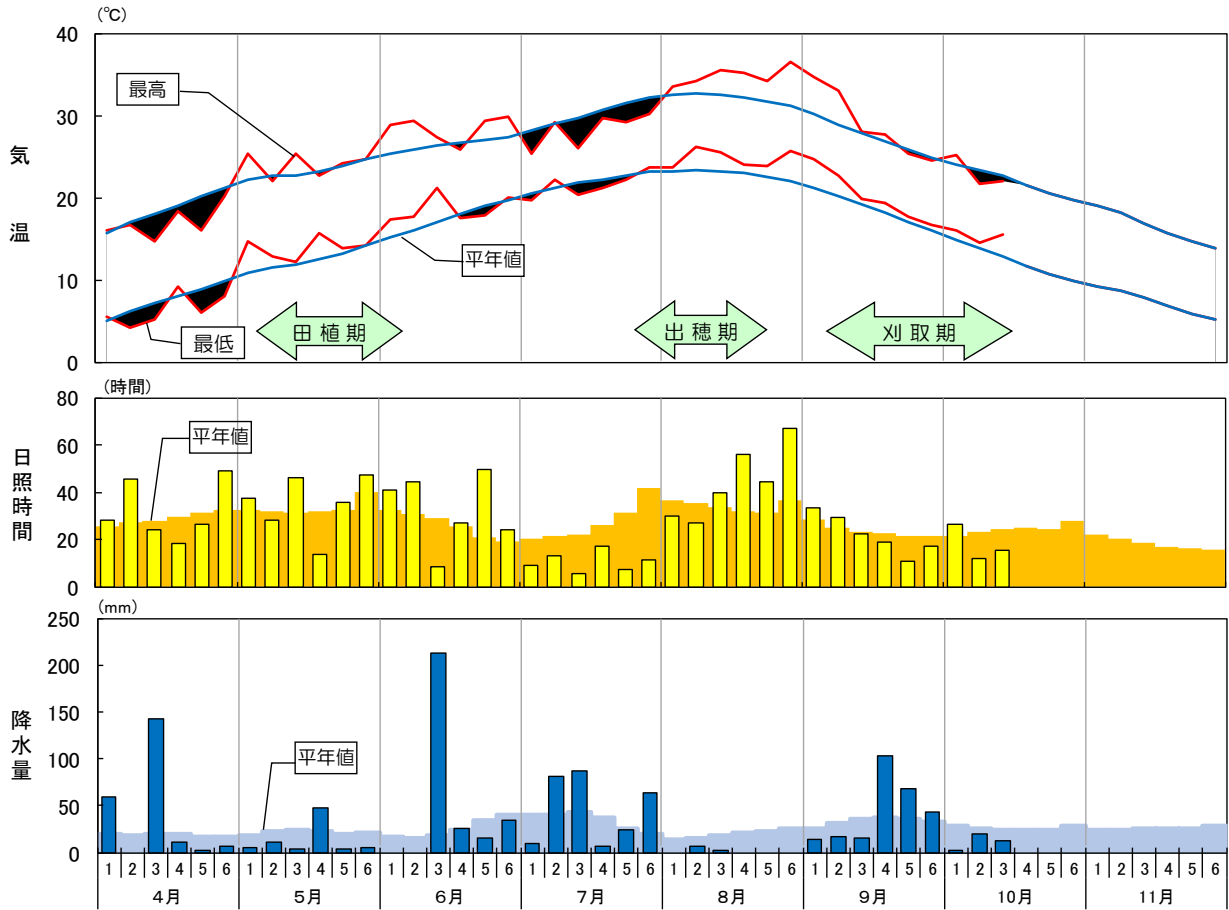


◎ 累年統計表

区分	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収穫量 (子実用)	作況指数	参考	
					主食用 作付面積	収穫量 (主食用)
	ha	kg	t		ha	t
鳥 取 県 平成22年産	14,200	507	72,000	99	14,100	71,500
23	14,100	509	71,800	99	13,900	70,800
24	14,000	527	73,800	103	13,900	73,300
25	14,100	519	73,200	101	13,800	71,600
26	13,600	498	67,700	97	13,000	64,700
27	12,900	512	66,000	99	12,400	63,500
28	12,700	522	66,300	102	12,500	65,300
29	12,600	520	65,500	101	12,400	64,500
30	12,800	498	63,700	97	12,700	63,200
令和元年産	12,700	514	65,300	100	12,600	64,800
2(見込み)	12,900	512	66,000	100	12,800	65,500
東 部 平成22年産	5,370	490	26,300	96
23	5,310	498	26,400	98
24	5,270	527	27,800	103
25	5,350	513	27,400	101
26	5,210	502	26,200	98
27	5,020	503	25,300	99
28	4,930	514	25,300	101
29	4,870	522	25,400	102
30	4,930	488	24,100	95
令和元年産	4,890	506	24,700	99
2(見込み)	4,920	511	25,100	100
西 部 平成22年産	8,810	517	45,500	100
23	8,750	515	45,100	100
24	8,770	527	46,200	102
25	8,760	523	45,800	101
26	8,380	495	41,500	96
27	7,900	518	40,900	100
28	7,800	526	41,000	102
29	7,730	518	40,000	101
30	7,840	503	39,400	97
令和元年産	7,840	519	40,700	100
2(見込み)	7,960	513	40,800	100

◎半旬別気象図

鳥取市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「令和2年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在 中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局 鳥取県拠点 統計チーム 担当：有本、地面
 電話：0857-22-3201 FAX：0857-37-0428